

# こんにちは 議会です!!



安心して住みつづけられるよう



上水谷地区

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| • 補正予算を審議 …………… 2 | • 常任委員会 …………… 6      |
| • 6月定例議会 …………… 4  | • 町政を問う(一般質問)………… 10 |
| • 町長の行政報告 …………… 5 | • まち・ひと・しごと!! …… 16  |



# 三朝町と友好都市締結式典を予算計上

(鳥取県)

## 住民への周知を



**がんばる商店応援**  
(新規開業2件、しつらえ1件)  
**700万円**



**小学校補修工事など**  
(多賀小学校体育館)  
**2220万円**



**三朝町と多賀町  
友好都市締結**  
**100万円**



**道徳教育の強化**  
**159万円**



**消 防 費**  
(消防備品の整備)  
**188万円**



**農業生産基盤  
整備助成**  
**17万円**

### 予算特別委員会

6/13

#### おもな内訳

	(万円)
三朝町友好都市締結式典	100
社会保障・税番号システム整備	36
<b>がんばる商店応援補助金</b>	<b>700</b>
農業生産基盤整備補助金	17
非常備消防費	98
コミュニティ助成事業(消防)	90
<b>小学校補修工事</b>	<b>2220</b>
道徳教育の強化	159

**問** がんばる商店応援補助金の内容は

**答** 飲食店の新規開業2件、店のしつらえ1件に対して補助する。開業後2年間は報告義務がある。(5年以上事業を継続しなければ、補助金の返還義務が生じる。)

**問** 小学校補修工事の内容と、工事期間は

**答** 多賀小学校の外壁工事、両小学校の体育館ステージ照明のLED化工事、体育備品購入である。当初予算での事業とあわせて、学校の夏休み期間中に工事を完了させたい。

**問** 三朝町との友好都市締結式典の内容は

**答** 式典は、8月23日に行なう。内容は、経過報告、盟約書調印、町旗交換など。今後は、行事などで相互に訪問することになる。

**問** コミュニティ助成事業補助の対象と内容は

**答** 多賀区が、非常時の消防備品を整備することに補助する。財源は、全額自治宝くじの助成を活用する。緊急時のためのAED(自動体外式徐細動機)と、発電機が整備される。

**問** 道徳教育の強化予算の内訳は

**答** 今年度多賀町が国の指定を受けた。全額を県が補助する。講師として広島と京都から大学の専門家2名に来ていただく。旅費や報酬を計上した。今年度、学校での授業研究2回、研究発表2回、教師の研修会5回などを予定している。

**問** 農業生産基盤整備補助金の内容は

**答** 認定新規就農者1件に対し、トラクターにつけるアタッチメントの購入に補助する。ニンジンの生産拡大のための、平高の畝を形成する部品。



三朝町との交流



ガスエンジン発電機

AED (徐細動機)



思いやりの心を育てる



生産拡大をめざす

多賀にんじん畑



# 芹谷栗栖地域振興事業 完了 農業委員 新体制へ

補正予算を可決・承認

区分	(万円)	おもな内容
◎29年度一般会計の補正予算	3420	がんばる商店応援・小学校体育館補修など
◎28年度一般会計の補正予算	7079	基金積立金(中央公民館・社会福祉)など
◎特別会計		
28年度国民健康保険	▲1500	国保会計の精算
28年度介護保険事業	▲3177	介護保険の精算など
28年度育英事業	▲100	支給額の確定
28年度下水道事業	▲420	下水道使用料の減額など

条例が制定されました  
中小企業・小規模企業振興基本条例  
詳細は8ページを参照。

条例が廃止されました  
芹谷栗栖地域振興事業特別会計条例  
事業完了により廃止

請負契約を締結しました  
大滝たきのみやこども園増設改築工事  
請負者 (株)フジサワ建設  
契約金額 1億1286万円  
工期 30年1月31日まで

農業委員に任命されました  
重森 駿 氏 (榑崎)  
小菅 建次 氏 (敏満寺)  
山本 登英 氏 (大岡)  
古川 新司 氏 (猿木)  
高橋 正孝 氏 (月之木)  
土田 雅孝 氏 (土田)  
西澤 順一 氏 (木曾)  
喜多 昇 氏 (富之尾)  
土田 卯之輔 氏 (土田)  
田中 栄一 氏 (敏満寺)  
栗本 泉 氏 (栗栖)  
富田 平 氏 (富之尾)  
喜多喜代美 氏 (富之尾)  
田中 伸幸 氏 (多賀)



町道を認定しました  
柳町三号線と五号線  
神田一号線と六号線  
◎あけぼのパーク多賀空調設備機能強化工事  
請負者 一圓テクノス(株)  
契約金額 1億3025万円  
工期 29年11月30日まで

(単位:万円)

事業名・内容	翌年度繰越金
◎平成28年度一般・特別会計繰越明許費	
個人番号カード交付事業	59
認定こども園整備事業	242
あけぼのパーク多賀太陽光発電	1億5482
山林境界明確化事業	800
絵馬通り第3工区	6659
絵馬通り側溝改良	1156
(仮)川相消防センター整備事業	4765
両小学校屋内運動場耐震補強事業	7400
公共下水道事業(マンホールポンプ場)	420
水道事業(舗装工事ほか)	4180

## 臨時議会

5/17

# あけぼのパーク多賀空調設備大改修 老朽化する公共施設 総額1億5116万円



平成10年竣工以来、19年が経過し、老朽化による空調機器の故障が生じた。  
財源は、繰越金3786万円、借入金1億1330万円、合わせて1億5116万円。  
(詳細は4ページを参照)  
工事中、閉館が予定される。

補正予算を審議・可決しました

28年度決算の見込み

一般会計の歳入見込額は、約49億9800万円で、歳出見込額は、約47億8200万円となる。町税は、19億7200万円程度で、前年度より約9600万円増収。  
将来を見据え、減債基金に3032万円、社会福祉基金に5000万円、中央公民館建設基金に1億2760万円を積立。

## 町長の行政報告

6/7

企画課所管

まちづくり活動支援交付金事業  
3カ年の1期目が終了、2期目に入る。集落の自主的な地域づくりにつながる事業展開となるよう取り組む。  
友好都市盟約締結  
鳥取県三朝町とは県営ダム計画中止など、10年にわたって交流してきた。締結に向けた予算を上程している。

空き家対策  
特別措置法に基づく除却・利活用を含め、3月末に「空家等対策計画」を策定した。

産環境課所管  
28年捕獲実績で、シカ578頭、イノシシ66頭、サル33頭。引き続き獣害対策に取り組む。

林業関係  
地方創生交付金を活用し、林業の活性化を目指したい。

商工観光  
小規模企業の振興を図る多賀町条例の制定を6月定例会に上程。

地域整備課所管  
道路改良事業  
昨年度末までに、絵馬通り線約246mの工事が完了。  
第3工区に着手。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。

中央公民館建設事業  
実施計画がまとまり、町産木材の調達状況等を把握しながら、建築工事の発注時期を検討中。



新入学生への通学助成

こども園化へ

教育委員会所管  
4月に2回目の料金改定をさせていただいた。

大滝たきのみやこども園  
30年4月開園を目指し工事を進める。工事中は、通園時の園児・保護者の安全を図る。

入学生通学助成  
ランリユック・スポーツバック・自転車ヘルメットの支給。

外国語学習  
両小学校の1年生から6年生まで進める。



# 教育施設を視察 保護者・地域との 十分な意思疎通を



教育施設を視察し、今年度の事業を調査しました

## 幼児教育

- ◎ささゆり保育園
- 園児数 170人
- 職員数 46人
- 入園児の低年齢化
- 長時間保育の増加
- 相談など保護者支援
- ◎たきのみや保育園
- 園児数 22人
- 少人数による友達関係の固定化
- 7月から認定子ども園への増改築工事

## 小学校

- ◎多賀小学校
- 児童数 353人
- 「挨拶・立腰・黙動」
- あいさつ指導
- 読書指導（読書リスト）
- キャリア教育
- （ささゆり保育園での保育実習）
- ◎大滝小学校
- 児童数 64人
- 「やりきる やりぬく やりとげる」
- 大滝活性化事業としてふるさと学習

## 中学校

- ◎多賀中学校
- 生徒数 207人
- 「自信と希望を」
- 主体的な学習
- 職場体験などのキャリア教育
- ◎大滝幼稚園
- 園児数 46人
- 自分の気持ちを言葉で伝える力の育成
- 五感で感動する自然体験
- ◎大滝幼稚園
- 園児数 6人
- 少人数による友達関係の固定化
- 社会性、忍耐力の育成
- ◎道徳教育の委託事業
- 道徳教育の指定校

### 問 教育方針は

答 「知・徳・体」（確かな学力、豊かな心、健康な体）を育む教育を目指す。

具体的には、英語教育（32年から必修教科）ICT機器の有効活用、職場体験などのキャリア教育、特別支援教育の充実を図る。

また今年度は、国の道徳教育の委託事業の指定を受けた。

### 問 道徳教育の委託事業内容と予定は

答 小学校では来年度から道徳が教科化され、年間35時間の授業が実施される。そのための委託事業で、本町が指定を受けた。多賀小と多賀中に講師を招き、授業研究や研修会を予定している。

### 問 認定こども園の検討課題の調整は

答 5月に保護者会の課題をまとめた。6月に第2回目の調整会議を開催。7月には町広報に園歌と園章を公募する。

7月から増改築工事を着工する。安全対策を徹底する。



### 問 ささゆり保育園園児増加への対応は

答 定員を超えた場合に、たきのみや保育園への入園をお願いしている。できるだけ待機児童がでないように対応する。

### 問 中学校の部活動の現状は

答 最近では学校外のクラブへ通う生徒も多い。部活動と同じものとして認めている。

部活動の指導や引率で、教師の負担が増えている。国も働き方改革を提唱しており、地域の方など、人材の活用も考えたい。

### 問 区域外からの通学補助は

答 保護者の責任において学校まで送迎することを条件に受け入れていないが、今後も区域外通学の受け入れは必要と考える。

### 問 区域外からの通学補助は

こども園や、小学校への入学につなげたい。

# 産業建設常任委員会

## 県事業

地域整備課所管の調査をしました

### 一町事業

課長から職員の仕事分掌の説明があり、29年度事業、道路、河川、地域振興事業関係の繰越も含めて26件。

問 敏満寺地先の「小森池線」残土置き場に桜の植栽をした。今年も追肥費用が予算化されている。現状は多くが枯れているが、対策は

答 獣害などあり、対応に苦慮している。今後も苗木の補植をして行く。

### 問 今年度の橋梁の長寿命化工事は、多賀の「不動橋」と土田の「1007号橋」2カ所。設計委託はどこの橋か

答 また、今後の予定は藤瀬「大滝橋」、大君ヶ畑「指月橋」、芹谷「学校前橋」。予算の関係もあるが、毎年3カ所程度取り掛かりたい。

問 芹川右岸の護岸工事の規模は

答 月之木地先120Mで今年度完成の見込み。

### 要望

県の芹谷栗栖振興事務所は、廃止になったが、芹谷地域振興課のもと「醒ヶ井線」の早期完成を求める。

国道306号線「鞍掛峠」の通行止解除が31年5月予定だが、県に早期の開通を求める。

### 一上下水道事業

問 土田地先の新水源地は、竹やぶが近くにあり、

答 対策と梅林の補償は竹やぶは、ワイヤーを張る。

問 梅林の補償は、買取時に考える。

答 水源が完成すれば、導水管も考えないといけない。大きな予算が必要である。

### 問 下水道の長寿命化は

答 マンホールポンプ場の長寿命化工事は、年間3カ所程度やりたい。

# 安心と安全のまちづくりを



## 29年度 主な事業

● 道路関係等事業		
事業名	地先	内容
道路改良	多賀	絵馬通り改修
	敏満寺	敏満寺高宮線（舗装）
	土田	神田団地前道路新設
	月之木	月之木GH線新設
	敏満寺	栗田高宮線 継続
都市計画	多賀	絵馬通り空間整備事業
橋梁	多賀	不動橋
	土田	1007号橋
集落排水	木曾	側溝工事
地籍調査	河内	一筆調査 継続
大滝活性化	川相	懇話会の組織編成
河内活性化	宮前	地域の未来を考える会
● 緑越事業		
道路改良	多賀	絵馬通り第3工区
消雪	多賀	送水管布設替え
● 上下水道事業		
事業名	地先	内容
老朽管布設替	多賀	四津屋町地先
	一円	区域全域 継続
舗装	萱原	宮下橋 添架
	四手	的場滝下線
	栗栖	多賀醒ヶ井線
	久徳	細田団地
下水ポンプ	中川原	マンホールポンプ場
	八重練	同上
	大岡	同上



# 地域振興・活性化に 新条例制定



多賀町中小企業・  
小規模企業振興  
基本条例制定

## どんな条例？

国は26年6月27日、法律第94号「小規模企業振興基本法」を制定した。中小企業基本法の基本理念のつとめ、小規模企業の振興について、基本原則、基本方針、その他基本になる事項を定める。

- 第6条 関係団体の役割
- 第7条 金融機関の役割
- 第8条 町民の理解と協力
- 第9条 基本的施策
- 第10条 委任事項

## 第4条 町の責務は？

- ① 振興に関する施策の実行
- ② 財政上の措置
- ③ 受注機会の確保

## 第9条 基本施策は？

- ① 新規事業に支援
- ② 事業継承、創業支援
- ③ 人材確保、能力の向上
- ④ 大手企業との連携
- ⑤ 融資制度、信用補完
- ⑥ 調査、情報の提供
- ⑦ その他振興に関する必要な事項

国および地方公共団体の責務を明らかにし、振興の施策を計画的に推進し、「国民経済の健全な発展及び国民生活の向上を図ること」を目的とする。

第1条 目的  
第2条 定義  
第3条 基本理念  
第4条 町の責務  
第5条 企業者の努力義務

# 県、芹谷地域振興事務所を廃止 湖東土木事務所内に芹谷地域振興課を設置 多賀町議会 ダム対策特別委員会廃止

県の芹谷地域振興事務所廃止に伴い、湖東土木事務所内の新組織「芹谷地域振興課」の課長と町長、副町長、地域整備課長の出席を求め、県事業、町事業の現在までの総括を聞いた。

## 残事業の予定は

社会資本整備事業の内、県道多賀醒ヶ井線の道路整備に全力を挙げると回答した。



残事業の早期完了を

総事業・金額	H22～H28 (万円)
県事業	合計 36億9700
道路、河川、砂防工事	36億9700
多賀町受託事業	合計 23億 800
水没予定地域活性化	13億7000 (上・下水谷地区、家屋支援・集落道上水道・集会場急傾斜・防災他)
周辺地域整備	9億2100 (栗栖、桃原、芹谷、多賀地区、町道・集落道・集会場・獣害・集団移転地補償)
関連社会資本整備	1700 (急傾斜地崩壊対策事業)

## 結論

### 議員定数・議員報酬 現状維持

## 議会基本条例の制定・各団体との意見交換会が課題

- 議員定数**
- 各議員が担当課を決め監督すれば10人で良い
  - 人口減少もあるが、本町は、広範囲な行政区域であり12人が適当
  - 地域別の課題を集約するには必要
  - 議員を少なくすると各委員会ができなくなる

現状維持の定員12人とする事に結論つけた。

- 議員報酬**
- 議員報酬は、生活給とはいえない
  - 現在の定数では報酬を上げるのは難しい
  - 条例の制定、パブリックコメント、報酬審議会審査など、課題も多い

現状維持と結論つけた。



経過

議会改革の必要性について、23年3月に計画書作成。24年2月に中間報告。25年3月に議会改革特別委員会を設置し、議論を重ねてきた。

- 費用弁償の廃止
- 一般質問の一問一答制
- 町長に反問権を与える
- 議決範囲の拡大など

## 今後の課題

議会基本条例の制定。懇談会の充実。町の各審議会委員との懇談会等。

## 議会を傍聴してみませんか？

9月定例会予定日は9月5日(火)～28日(木)まで

5日(火)議案審議、6日(水)一般質問、28日(木)議案審議

## 表紙写真募集!!

『議会広報たが』の表紙写真を募集いたします。

**【募集内容・要件】**

- ◎町内で撮影されたもの
- ◎未発表のオリジナル作品
- ◎被写体の肖像権・財産権・使用権の承諾が得られているもの
- ◎縦位置で撮影されたデジタル画像

**【募集方法】**

- ◎データの持ち込みまたはメールでご応募がございます。
- メール本文には、氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記載ください。
- ※広報常任委員会で選考し、ご応募いただきましたお写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。
- ※詳細はHPにも案内しております。

## 気軽に懇談 しませんか？

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。

議会事務局  
☎ 48-8126  
(有線) 2-2011





# 町政を問う

10人が一般質問

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもちに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問事項	ページ
■ 松居 亘	11
◎町産米の振興策は	
◎家庭教育の支援は	
■ 菅森照雄	11
◎芹谷地域の活性化と観光は	
◎杉の子クラブの充実を	
■ 富永 勉	12
◎小森池線残土処分地の桜の管理は	
■ 尾谷忠之	12
◎公共施設等管理計画は	
■ 川岸真喜	13
◎今後の林業は	
■ 川添武史	13
◎新公民館・設備計画のチェックは	
◎固定資産台帳は、公有財産台帳への転記であり、金額ベースで従前の自治体会計と違う	
■ 山口久男	14
◎入学準備費用の入学前支給を	
◎放課後児童クラブ施策の拡充と改善は	
◎幼児教育・保育の課題解決を	
◎国民健康保険は	
◎憲法第9条と共謀罪の見解は	
■ 木下茂樹	14
◎資源ごみ回収の内容は	
◎資源ごみの直接搬入施設の設置を	
■ 北川久二	15
◎通学路への防犯カメラ設置を	
◎大型連休時の可燃ごみ収集を	
■ 森 令三	15
◎積雪時のバス通学の中学生への対応は	

(※○印は、掲載していません。)

質問1

## 町産米の振興策は

—産業環境課長—

### ブランド化と生産支援を検討

松居 亘



町産米の食味検査

**問** ①県の「近江米特Aプロジェクト」の内容と成果は

**答** ①県の「近江米特Aプロジェクト」の内容と成果は、県下の7カ所の圃場を指定。良食味生産技術の開発をし、食味ランキング特Aを取得した。

②地域別の結果は、公表できない。

③毎年4月に説明会でパンフ配布や説明を実施。

④地域ブランド認定制度の創設が必要。

⑤各種補助金制度を活用できるよう支援策を検討。

**問** ①県の「近江米特Aプロジェクト」の内容と成果は

**答** ①県の「近江米特Aプロジェクト」の内容と成果は、県下の7カ所の圃場を指定。良食味生産技術の開発をし、食味ランキング特Aを取得した。

②地域別の結果は、公表できない。

③毎年4月に説明会でパンフ配布や説明を実施。

④地域ブランド認定制度の創設が必要。

⑤各種補助金制度を活用できるよう支援策を検討。

質問2

### 家庭教育の支援は

**問** ①家庭・学校・地域の役割と責任は

**答** ①家庭・学校・地域の役割と責任は、家庭教育力の回復への取組は

②「親としての学び」への取組は

③「親としての学び」への取組は

④県の「家庭教育支援条例」制定の動きは

教育長

**答** ①それぞれが基本的な生活習慣や倫理観を教え、相互に補完するうえで、連携、協力が大切。

②小学校では学校だよりや学級通信を発行。中学校では、親子活動やPTA新聞を発行し啓発。

③講演会を開催するなど、親子の活動を通して子どもとの関わり方を体験してもらおう。

④今のところ、条例化の動きはない。

質問1

## 芹谷地域の活性化と観光は

—町長—

### インフラ整備の早期完了を要望

菅森 照雄



観光資源を活かして

**問** ①芹谷地域活性化に対する具体策は

**答** ①芹谷地域活性化に対する具体策は、河内風穴の観光に対する考えは

**町長** ①県にインフラ整備の早期完了を強く要望し、観光での活性化を図る施策が重要。

②県道整備を進め、駐車場整備やトイレ整備が必要であり、地域と協議しながら課題を検討し、進めたい。

質問2

### 杉の子クラブの充実を



開設日数などの充実を

**問** ①障害児放課後児童クラブを週5回開設するよう要望してきたが、前年度からの引継ぎは

**答** ①障害児放課後児童クラブを週5回開設するよう要望してきたが、前年度からの引継ぎは

②今後、放課後児童クラブ同様に取組む考えは

③教育委員会の見解は

福祉保健課長

**答** ①事務引継ぎを受けており、増設可能な方法を検討する。

②杉の子会、教育委員会とも検討協議していく。

**教育長** ③毎月の校園長会や家庭応援センターとも連携し活動内容の充実に向けて積極的に参画していく。

町政を問う

町政を問う



質問1

# 今後の林業は

—町長—

## 健全な山づくりで町産材の利用促進

川岸 真喜



**問** 木材搬出のための作業道設置は、森林の環境負荷・土砂流出など問題点も指摘されている。最小限におさえるべきでは。架線搬出方法もあるが

**産業環境課長**  
**答** 国・県が森林作業道作設計針で低コスト・壊れにくい構造である事などが条件となっている。森林組合が所有者と協議の上、設置となる。架線での搬出は費用がかなり、作業道による搬出方法が安価で効率が良いとされている。制限林内での作業道については県が検査をしている。

今後の林業

**町長**  
**答** 町産材利用住宅促進事業補助金と他の補助金で最高180万円助成制度を本年度より始めた。中央公民館建設でも町産材を使った取り組みをしている。6次産業化と境界明確化事業により、健全な山づくりで住宅用木材としての利用を促進する。

### 将来に向けた山づくりは

**後継者問題は**  
**問** 林業技能者（山師）育成に毎年1000万円充てられている。本町の林業後継者問題は解決するのか

**産業環境課長**  
**答** 山師の高齢化により、次世代継承が困難な状況。境界明確化と森林資源の把握により技能者を育成し生活できる仕事の確保が必要。総合的に取り組む。

質問1

# 小森池線残土処分地の桜の管理は

—町長—

## 山林に戻すべく、桜を育てていく

富永 勉



桜の名所になるのか

敏満寺地先

**問** 2年前、町道小森池線の新設工事で生じた残土の処分地が敏満寺地先に設置され、桜の苗木が植栽された。400万円の費用をかけた。

**町長**  
**答** 本町が敏満寺区の皆様のご協力を得て用地買収し、町有地として取得。苗木が育っていない原因と管理体制は

**町長**  
**答** 痩せ土であり、水はけの悪い粘土質である。土壌調査もしたが栄養素の低い土質で、シカの食害もあり、苗木が育っていない。今後も、肥料散布や補植をする。

**町長**  
**答** 他の用途での活用計画はなく、山林に戻すべく、桜を育てていきたい。

### 今後この土地の活用方法は

質問1

# 新公民館・設備設計のチェックは

—企画課長—

## 協議を重ね確認している

川添 武史



あけぼのパーク多賀

空調機器

**問** あけぼのパークでも空調設備の改修に多額の費用が補正予算として計上された。当初からの能力不足で増設も予算化された。新中央公民館の建設が近づいている。空調などの設備設計のチェックは十分か

**企画課長**  
**答** 設計会社と共に協議を重ね、確認している。各部屋の負荷計算をし、能力・機能について決定している。空調機器は、各部屋ごとに個別に設置する。

**質問2**  
**問** 固定資産台帳は、公有財産台帳への転記であり、金額ベースで従前の自治体会計と違う

**答** ①公有財産台帳が出来るならば、何も前に進まない、何処までできたのか  
②各課の備品も財産である。把握と貼付シールは  
③公共施設の管理計画と最適化は同時にやらなければならない。進捗は  
④事業評価は重要である。9月議会に出せるか

**総務、企画課長、副町長**  
**答** ①固定資産台帳は、精査する必要がある。徐々に進めている。  
②備品管理の出来たところからシールを貼付している。  
③管理計画も、順次取り組んでいる。整備に必要な基金は目的別に。  
④事業別評価は、必要とされている。一部の事業を決算に示したい。

質問1

# 公共施設等管理計画は

—副町長—

## 基金を創設し計画的に整備する

尾谷 忠之



**問** 「公共施設」と「インフラ資産」の現状認識と見解・住民への周知は

**副町長**  
**答** 「公共施設」は人口推移や財政状況を踏まえ、今後30年で床面積の10〜15%縮減に努める。インフラ資産は現状数値を維持し効率的かつ効果的にコスト縮減に取り組む。住民への周知は、本町のホームページと広報たがに掲載した。

**副町長**  
**答** 公共施設等管理計画は、総務省の指針に基づき各施設所管課から基礎的な情報を収集し、素案策定後、パブリックコメントを募集、昨年6月に策定した。今後の進捗状況は本町のホームページ、広報たがで住民への周知を行う。



体育施設

**計画策定の経緯と進捗状況と今年度取組は**  
**副町長**  
**答** 多額の費用が必要となり、縮減も含め計画的に財源の確保を図り、基金の積み立て等も必要と考える。

**中長期的なランニングコストと改修・改築費用、充当する財源の見通しは**  
**副町長**  
**答** 今後、2年間で類型別施設ごとに個別計画を策定する。



# 通学路への防犯カメラ設置を

—副町長—

## 安全確保のためにも重要施策と認識

北川 久二



見守り防犯カメラ

**問** 通園・通学時に痛ましい事故が多発しており、国土交通省・警察庁・文部科学省より通学路の安全点検及び安全対策を各自自治体に求められている。より安全・安心な通学路のために、防犯カメラの設置を

**副町長**

**答** 子ども一〇番の家、防犯パトロールやスクールガードによる見守り活動をを行っている。教職員や保護者へ注意喚起する情報をメール配信している。安全確保の強化を図るためにも重要な施策と認識している。

**問** 通園・通学時に痛ましい事故が多発しており、国土交通省・警察庁・文部科学省より通学路の安全点検及び安全対策を各自自治体に求められている。より安全・安心な通学路のために、防犯カメラの設置を

**副町長**

**答** 子ども一〇番の家、防犯パトロールやスクールガードによる見守り活動をを行っている。教職員や保護者へ注意喚起する情報をメール配信している。安全確保の強化を図るためにも重要な施策と認識している。

**問** 大型連休時（五月・盆・正月）はごみも多くなり集積場も一杯となる。リバースセンターの休日や広域行政の性格上、困難な側面もあるが、可燃ごみ収集を通常どおり週2回できないか

**町長**

**答** 苦情や要望は聞いていないが、一週間のあいだに一回は収集するよう調整している。ごみステーションが小さい場合は、「キラリと光る町づくり」交付金を使いステーションの改修に役立てていただきたい。



ゴミステーション

# 積雪時のバス通学の中学生への対応は

—学校教育課長—

## 学習機会が均等に保たれるよう適切に対応

森 令三



**問** 1月の大雪の朝、バス通学生徒に「下校時に迎えがない生徒は、自宅学習するように」というメール連絡があったのを教育委員会は把握していたか

**学校教育課長**

**答** バスの運行情報を伝え、保護者にメールするよう学校に指示したが、内容まで把握できてなかった。

**問** 1月の大雪の朝、バス通学生徒に「下校時に迎えがない生徒は、自宅学習するように」というメール連絡があったのを教育委員会は把握していたか

**学校教育課長**

**答** バスの運行情報を伝え、保護者にメールするよう学校に指示したが、内容まで把握できてなかった。

**問** バスの運行が大きく影響するため、自然条件等による連休で授業が受けられない状態は避ける必要がある。全ての生徒の学習機会が均等に保たれるよう適切な対応をする。

**学校教育課長**

**答** バス通学の生徒は、バスの運行が大きく影響するため、自然条件等による連休で授業が受けられない状態は避ける必要がある。全ての生徒の学習機会が均等に保たれるよう適切な対応をする。

**問** バスの運行が大きく影響するため、自然条件等による連休で授業が受けられない状態は避ける必要がある。全ての生徒の学習機会が均等に保たれるよう適切な対応をする。

**学校教育課長**

**答** バス通学の生徒は、バスの運行が大きく影響するため、自然条件等による連休で授業が受けられない状態は避ける必要がある。全ての生徒の学習機会が均等に保たれるよう適切な対応をする。



交通混乱を招いた大雪

# 入学準備費用の入学前支給を

—教育次長—

## 他市町を参考に検討したい

山口 久男



**問** 保護者の負担軽減のため、入学準備費用を入学前に支給できないか

**教育次長**

**答** 前年収入額等を把握し、適正に事務処理をする必要があるが、入学前の支給はしていないが、制度導入の市町を参考に、就学支援を検討したい。

**問** 子どもの居場所と健全育成のため、施策の拡充と改善が必要であるが、入所希望が増える中、現施設で対応できるのか

**教育総務課長**

**答** 5月末で85人の入所があるが、138人まで入所可能である。

**問** 保護者の負担軽減のため、入学準備費用を入学前に支給できないか

**教育次長**

**答** 前年収入額等を把握し、適正に事務処理をする必要があるが、入学前の支給はしていないが、制度導入の市町を参考に、就学支援を検討したい。

**問** 登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

**教育総務課長**

**答** ①登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

**問** 登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

**教育総務課長**

**答** ①登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

**問** 登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

**教育総務課長**

**答** ①登降園時間はさまざま、要望もないことから、極めて難しい。②多賀幼稚園は老朽化しており、園舎の施設整備計画の中で検討したい。

# 資源ごみ回収の内容は

—産業環境課長—

## 資源回収の奨励金交付と廃棄物削減にご協力を

木下 茂樹



**問** 資源ごみの回収量の現状と紙類回収の助成額は

**産業環境課長**

**答** ①資源収集量の総量はほぼ横ばいで、ペットボトルは増加し、空き缶は減少傾向である。紙類は近年平均約300tで、約92万円を助成し、活動資金としている。②デジタルカメラ・携帯電話など、東京オリンピックのメダル連携委員会に参画している。

**問** 資源ごみの直接搬入施設の設置を

**産業環境課長**

**答** ①資源回収の保管場所の困難性、衛生上から常時搬入可能施設が必要では

**問** 資源ごみの回収量の現状と紙類回収の助成額は

**産業環境課長**

**答** ①資源収集量の総量はほぼ横ばいで、ペットボトルは増加し、空き缶は減少傾向である。紙類は近年平均約300tで、約92万円を助成し、活動資金としている。②デジタルカメラ・携帯電話など、東京オリンピックのメダル連携委員会に参画している。

**問** 資源ごみの回収量の現状と紙類回収の助成額は

**産業環境課長**

**答** ①資源収集量の総量はほぼ横ばいで、ペットボトルは増加し、空き缶は減少傾向である。紙類は近年平均約300tで、約92万円を助成し、活動資金としている。②デジタルカメラ・携帯電話など、東京オリンピックのメダル連携委員会に参画している。

**問** 資源ごみの回収量の現状と紙類回収の助成額は

**産業環境課長**

**答** ①資源収集量の総量はほぼ横ばいで、ペットボトルは増加し、空き缶は減少傾向である。紙類は近年平均約300tで、約92万円を助成し、活動資金としている。②デジタルカメラ・携帯電話など、東京オリンピックのメダル連携委員会に参画している。



中学校の資源回収

町政を問う

町政を問う



# まち・ひと・しごと!!

第2回

## アイ・コラボレーション多賀

リーダー

北川 誠さん

アイ・コラボレーションは障がい者の共同作業所として2000年4月に設立しました。

翌2001年に多賀町、及び多賀町の各団体のご協力の下、多賀事務所を開設。現在は障がい者就労支援B型事業所として活動を行っております。障がい者と健常者が共に協力して働くことを理念としています。

・障がい者の働く場であること

・障がい者の能力開発の場であること

・障がい者の社会参加の場であること

・障がい者の社会貢献の場であること

を目的に、Webサイト制作や印刷物制作などパソコンに精通した業務を主に行っております。

「サイバースペースにバリアはない!」この可能性に私たちは挑戦します。



事務所外観



制作の様子

## ノーマライゼーション社会を目指して

「多賀の皆様とともに」

日進月歩でIT技術が進み、今やご家庭にパソコンがない方が珍しい時代となりました。

パソコンの普及に伴い便利になる反面、より複雑化していく中で困りの方もおられると思います。

アイ・コラボレーションではパソコンお悩み相談としてパソコン教室やパソコンの設定、修理、不具合診断などを行っています。

パソコンに関してお困りのことがございましたらお気軽に当事業所までご相談ください。皆様の生活のお役に立てると幸いです。

地域でふれあい、支えあうことで障がい者も働き、積極的に社会に貢献できるよう努め、障がいの有無にかかわらず、個人でしっかり自立できる能力、環境整備を目指します。

多賀町に関わる一員として、誰もが住みよいまちづくりの一躍を担えるよう、微力ながらこれからも精進してまいります。また、障がいでお悩みの方がおられましたら是非一度ご相談ください。多賀町、及び多賀にお住いの皆様のご理解とご協力を得ながら今後も多賀町と共に成長していきます。



制作(一例)

## 議会を傍聴してみませんか? 9月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
9月5日	5日(火) 9:30~ 議案審議
9月28日 (24日間)	6日(水) 9:30~ 一般質問
	28日(木) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。  
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

## 原稿募集!!

あなたのみわりの  
まちなひとしごと!!

あなたのみわりの  
自慢をお聞かせください。

【応募資格】 多賀町に在住・  
在勤の方。

【応募方法】 2000字程度

【募集期間】 平成29年  
10月4日(水)

◎議会事務局までご連絡ください。



山頂で撮影(高室山)

## 編集後記

皆様に、少しでも  
わかりやすい紙面で  
町政の情報をお伝え  
するため、紙面づく  
りに努めています。

皆様からの情報・  
ご意見をお待ちして  
おります。  
暑い日々が続いて  
おります。充分お  
体をご自愛下さい。  
竹内 薫 記

発行 / 多賀町議会  
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
☎0749(48)8126 FAX 0749(48)8131  
有線 2-2011

ホームページ http://www.town.taga.lg.jp/